

上ヶ原浄水場再整備等事業に係るアドバイザー業務

概要

- 神戸市水道局の上ヶ原浄水場の施設整備、維持管理、並びに運営業務をPFI（BTM）で計画。
- 上ヶ原浄水場は、大正6年（1917年）から神戸市内に水道水を供給しており、近年は施設の老朽化が進んでいることから、次の100年間を見越した施設の再整備が課題であった。また、近年は水需要の減少が進み給水収益が減少していることから、施設整備費の削減や運営面での効率的な施設運用を図る必要があった。
- 日本総研は、上ヶ原浄水場の再整備に伴うPFIの導入可能性調査、上ヶ原浄水場再整備等事業の実施方針から事業者選定までのアドバイザー業務を受託。

事業概要

事業範囲

- ① 事業全体の統括マネジメント業務
- ② 上水施設の再整備業務
- ③ 上水施設の維持管理業務

事業期間（予定）

- ① 整備期間
契約締結日から 令和7年3月（5年）
- ② 維持管理期間
令和7年4月から 令和22年3月（15年）

応募・選定スケジュール（予定）

- ・ 提案書提出 令和元年9月
- ・ 落札者の決定 令和元年12月
- ・ 事業契約の議決 令和2年3月

対象施設

	施設・設備	設計・建設	維持管理
上ヶ原浄水場 （上水施設）	浄水処理設備	○	○
	薬品注入設備	○	○
	排水処理設備	○	○
	電気・計装設備	○	○
	事業予定地内配管	○	○
	管理棟 （中央監視制御室）	○	○
	外構施設	○	○

検討のポイント

- ☑ 再整備に伴う公共負担の縮減、施設運用の効率化などの観点から最適な事業方式を検討。
- ☑ 浄水場の立地を活かした、最適な浄水処理方式（急速ろ過＋粒状活性炭接触池）を検討。
- ☑ 設計、建設、維持管理等、各業務段階における官民の適正なりリスク分担を検討。

既存施設概要

浄水能力	70,000 m ³ / 日
水処理方式	急速ろ過
主要施設	沈でん池 6,620 m ³ ×2池
	急速ろ過池 78.4 m ² ×8池



上ヶ原浄水場の全景



神戸市水道局資料より